

「開発事業構想検討書」等の記入例

様式第 1 号

開 発 事 業 構 想 検 討 書

年 月 日

仙台市長あて

住 所 ○ ○ ○ ○ ○

氏 名 ○ ○ ○ ○ ○

※法人にあってはその名称、代表者の氏名
及び主たる事務所の所在地

杜の都の風土を守る土地利用調整条例第 10 条第 1 項（第 17 条第 2 項，第 18 条第 7 項，第 21 条第 2 項，第 24 条第 1 項）の規定により，次のとおり開発事業構想検討書を作成し，第 11 条第 1 項の規定により提出します。

総 括 事 項			
当該区域を事業区域として予定する理由	検討した案の数： 3		
	選定した案の名称： 案3		
	理由： ① 土地の改変面積が少なく，自然環境に与える影響が最も少ない。 ② 当該施設の利用者の利便性の観点から適切である。 ③ 公共交通機関の利用が可能である。 ④ 土地利用方針との整合性を確保することができる。		
開発事業の構想の検討に係る経過（周辺地域の住民等の意見の聴取を行った場合にあっては，説明の方法，意見の有無等を含む）	◇経過 平成○年○月： 案 1 ～ 3 に関する構想素案の作成 平成○年○月： 住民等への説明及び意見の聴取 平成○年○月： 案 3 を選定 ◇説明の方法： 住民等約 50 名を対象とするアンケート調査 ◇意見の概要： ○○○の理由から案○には反対である。 ○○○の理由から案○には賛成である。 ○○○の理由から案○を○○○に修正するべきである。		
開発事業の実施に際し適正かつ合理的な土地利用を図る上で留意すべき事項	① 当該事業は，周辺に○○○○の影響を及ぼすおそれがあるため，予定地の選定に際し，○○○○について留意する必要がある。 ② 当該事業の特性上，立地が可能な場所は，○○○○に限られるが，○○○○に留意の上，事業を実施する必要がある。 ③ 選定した案 3 の事業区域内には，保全上重要な○○○○が存するが，開発事業計画を具体化する中で，保全のために必要な措置を検討する必要がある。		
連 絡 先	住 所		
	担当者	所属：	電話：
		氏名：	Fax：

備考 用紙の大きさは，日本工業規格 A4 とすること

個 別 事 項	
当該個別事項に係る案の名称	案3
開発事業の名称	〇〇〇〇〇〇事業
種別：	区画形質の変更 工作物の新築・改築・増築・移転・用途の変更 水面の埋立等 その他
開発事業の目的	〇〇〇〇法に規定する〇〇〇施設を整備するため
構想の内容	現況が〇〇〇である土地の区域内において、面積約〇〇ha の土地を造成し、建築面積約〇〇〇〇㎡、高さ約〇〇mの建築物〇棟を設置し、〇〇〇〇の用に供する。
事業区域の位置	仙台市〇〇区〇〇字〇〇〇番地内
周辺地域における土地利用の現況	添付図面のとおり
周辺地域における環境の状況	〇〇〇及び〇〇〇の生息の情報がある。 事業区域内において〇〇〇の生育が確認されている。 排水水の放流地点下流に位置する〇〇〇湖において COD の値が〇〇〇の状況にある。
周辺地域の仙台市基本計画等における位置付け	仙台 21 プラン： 事業区域は、〇〇〇ゾーンに位置する。 都市計画の方針： 事業区域は、〇〇〇ゾーンに位置する。 〇〇〇プラン： 〇〇〇に該当し、〇〇〇〇することとされている。
周辺地域における土地利用の規制の状況	森林法〇〇条の〇〇〇許可が必要である。 都市計画法〇〇条の〇〇許可が必要である。 県立自然公園〇〇地域に該当し、〇〇〇の許可が必要である。
周辺地域における土地利用方針の内容	◇事業者が配慮すべき基本的な事項： 〇〇区域、〇〇区域及び〇〇区域に該当。 ◇補完事項： 自然環境の保全、森林の連続性の維持、野生生物被害の回避、身近な自然環境の保全、景観形成に関する配慮、移動手段に関する配慮に関し、適切な措置を講ずる必要がある。

備考

- 1 個別事項に係る表は、検討した各案ごとに作成すること
- 2 添付図面
 - (1)事業区域の位置を明らかにした縮尺 1：25,000 以上の位置図
 - (2)周辺地域における土地利用の現況を明らかにした縮尺 1：25,000 以上の平面図
- 3 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること